



安心 安全 住み良いまち

こばり ゴミ協だより

発行者
小針小学校区
コミュニティ協議会
会長 岩脇 正之
2017年1月発行

第16号



第5回 「合同防災訓練」の開催

防災・防犯部会長
渡辺 誠



10月15日、小針小学校と地域の自治会が連携した合同防災訓練が開催されました。参加者は総勢1,067名(小針小学校児童690名ほか)の大規模な防災訓練でした。当日、児童は自治会避難場所と避難経路を学ぶため、各自治会の避難・集合場所に集まり、地域住民とともに小針小学校へ集団避難・登校しました。開会式には来賓に眞島区長を迎え行いました。

訓練内容は、学年単位で自治会住民との混成チームを編成して、訓練種目を体験しました。応急手当訓練では、三角巾、レジ袋、新聞紙を活用して応急手当を。また、心肺蘇生法・AED取扱い訓練は、ひまわり隊(新潟市消防団西方面隊)の指導で自治会の皆さんと各学

年のクラスごとに、取り組みました。防災ビデオ鑑賞では津波災害を学び防災知識を習得しました。さらに、グラウンドでは濃煙体験を行い、ハンカチなどで口と鼻を覆い低い姿勢で落ち着いて行動しました。消火器取扱い訓練は、消火器取扱いのポイントの説明を受け、火元めがけて放水訓練をしました。バケツリレー訓練は、バケツ受け渡し技術を習得し、声を掛け合い元気にリレーする大切さを学びました。

今回、新潟県所有の「移動地震体験車」を借りて、地震体験を行いました。低学年は震度5強、高学年・大人は震度7強で体験しました。体験者は児童72名、自治会住民約100名でした。訓練指導者及び関係者の方々のご協力で各訓練が無事に終了できた事に感謝いたします。

小針小学校児童との合同防災訓練は3回目で、防災や地域連携の大切さを学び、地域住民との交流や体験を行う中で地域防災力の向上、地域活性化に繋がると期待しています。ご参加ありがとうございました。

自治会長研修会開催される

「自治会の人材発掘と育成について」

自治会長会 会長 岩脇 正之

12月3日小針青山公民館において、自治会長会及び自治会長研修会を開催しました。自治会長会では9月から11月迄の事業報告を行いました承されました。

引き続き、自治会長研修会を自治会長及びコミ協役員、正副部長が出席し開催しました。

研修テーマは自治会運営などで頭を悩ませている「自治会役員の担い手」である「人材発掘と育成について」新潟NPO協会常務理事井上基之様に課題の取り組みと注意点について次の内容で講演を頂きました。

1.「自治会は何のために活動す

るのか」

2.「それは誰のためなのか」

3.「活動するためどんな協力がほしいのか」

4.「活動するとどんな良いことがあるのか」

また、人材が確保できたら、そこから担い手を育てる過程では活動は共に動き汗をかき、思いを伝え、責任と役割を与え、体制の構築と組織の意思決定が一部の役員などに集中しないように心がけないと、他の役員は指示を待つ立場となり自主性が無くなります。自分で考え動き、任せた仕事の成果を実感することで成長します。

尚、自治会のリーダーや若者の力を自治会などで活かすには、「寛容な姿勢や懐の深さが大切です。後継者育成のために職務を渡していく潔さや、フォローアップしていく覚

悟が寛容です。」と解り易く説明されました。

続いて、「地域コミ協の今後の展望について」と題して新潟市市民協働課長堀峰一様より地域コミ協の役割について講演を頂きました。

今回の講演会は直近の地域コミ協、自治会の運営を捉えた課題であり参考になりました。今後も自治会長の要望を受け、自治会運営などの課題解決をテーマとした講演会を予定しています。



「元気いきいき教室 ウォーキング講座」開催

福祉部会長 鹿島 茂行

今年で8回目となる人気講座です。9月7日、14日は、歩く姿勢・膝腰を痛めない坂の歩き方を講義と実技で学び、10月5日は体力別コースを歩く3部構成で受講生は30名、講師の新大篠田浩子先生のユーモアたっぷりの分かりやすい指導で、正しい姿勢を覚えました。



ウォーキングは6.1kmか3.5kmを体力に合わせ自分で選び、安全のため20名のスタッフが付き添い、途中で15分程度の休憩で糖分補給し、両コースとも1時間半で全員

無事帰還。講座で知り合った人と会話し、景色を見ながらマイペースで歩くウォーキングは、また参加したいと好評でした。来年も実施予定です。皆様の参加を期待しております。

おはよう朝ごはん 料理講習会

青少年健全育成部会長 川瀬 恭子

「おはよう朝ごはん料理講習会」は今回初めて行われた事業です。子供達に朝ごはんの大切さを知ってもらい、食べることや作ることに興味を持ってもらうキッカケ作りとして開催しました。対象を低学年の親子と高学年の児童に分け2回開催しました。10月22日(土)は低学年の親子が8組17名、11月12日(土)には高学年の児童が15名参加しまし

た。当日は、日頃料理をしない子ども達にも簡単で安全に作れるよう、食生活改善推進委員の方達が分かりやすくご指導してくださいました。低学年の親子が作った「おにぎらず」は、中身の具が何種類も入り栄養満点。おもしろいおもしろい好みの具を包み楽しんでいました。高学年の「ミニ肉まん」は、ホットケーキミックスとヨーグルトで皮を作りしゅうまいを包んで作る簡単さでありながら本格的な出来上がりビックリ。あつあつを美味しくいただきました。また、料理だけでなく、栄養素の話や

紙芝居を使った「朝ごはんの大切さや栄養素のお話し」は子ども達にもわかりやすく、より興味と関心を高めることができたと思います。

この事業は、次年度も開催しますので参加ください。



水との闘いの地に立つ住宅地小針の全景



小針地区の成り立ち

前瑞林寺住職 廣澤 憲隆

小針地区は、新潟市でもっとも早く開けた住宅地で、昭和29年11月に西蒲原郡坂井輪村から新潟市に合併しました。

当時は921世帯、人口6,736人の西蒲原郡で最北端の小さな純農村で、それまでは公的な機関は巻町にしかなく、役所も学校も寺尾駅から巻町まで通いました。

西蒲原郡を流れる西川が平島で信濃川と合流する付近の自然堤防沿いに400～500年前頃から人々が住み始めて集落が形成されたと思われます。しかし、古い公式な文書はこの地区には残っていませんので、正確な歴史を語ることはなかなかできません。

江戸時代、西川をはさんで東側の小新と亀貝は村上藩、西側の小針・平島・青山・寺尾は長岡藩で互いの領土が違う他国みたいな関係でした。長岡藩の領地は幕末には会津藩に変えられています。

江戸時代は3年に1度は洪水に襲われていたといわれており、そのような状況は大河津分水ができる大正時代まで続きます。その最大の洪水が明治29年の燕市の「横田切れ」という大洪水です。このとき小針は3年間土を見なかったそうです。上流の水害で流れた水はこの地域にたまって排水できませんでしたが、それを解決したのが関屋分水の工事でした。

江戸期には内野町の新川の掘削があり、その後坂井郷の農民は地元の坂井小針青山一帯のたまり水の排水のため、自前の労力提供で日本海へ流すのに堀割を掘りました。その名残が今の堀割町です。今の幹線道路である大堀通は、かつての坂井郷の田んぼの幹線排水路でしたが、この延長上の関屋地籍を買い受け、砂丘を堀割って海に流しました。これが明治44年のことです。

現在の小針地区は住宅地となっていますが、先人たちが血と涙で闘い抜いてできあがった美田の上に発展してきた姿と言えます。

小針地区に知的な居場所誕生



西新潟オープンカレッジ塾長
前瑞林寺住職 廣澤 憲隆

この度、地域の有志の方々の尽力により、アクティブシニアの居場所が小針青山公民館に誕生しました。小針地区は意識の高い方々がたくさんおられますが、今までは、中央区まで足を運び色々な講座を学んでいると聞いてましたが、これからは散歩ついでに教養(雑学)講座や地域学講座に集まっていただくことができます。小針地区はこの地域在住の方だけで教養講座の講師ができるほど人材豊富な地域であり、地域学は私ども、小針の歴史を語る会のメンバーを中心にみなさんと一緒に発展させていきたいと思っておりますので、気軽におい出いただければと一同張り切っております。

見守りなど地域を支援する民生委員・児童委員のお仕事について

小針地区民生委員児童委員協議会
会長 岩原 三男



小針地区民生委員児童委員(氏名、担当地域)

白川 純子	主任児童員
小林 美紀	主任児童員
岩原 三男	小針1丁目
金子 春美	小針1丁目
建部 ミヤ子	小針2丁目
天城 忠司	小針2丁目
石黒 ミチ	小針2丁目、小針藤山
廣澤 晃隆	小針3丁目、小針4丁目
佐藤 秀子	小針4丁目
江川 貫三	小針5丁目
坂井 こずえ	小針5丁目、小針南台
星 豊實	小針藤山
赤川 貴根子	小針上山
小林 睦子	小針南台
能勢 美枝子	小針が丘
藤本 フミエ	小新3丁目
縄 智恵子	青山4丁目
丸山 文雄	小新西1丁目、小新 小新3丁目、小新4丁目



民生委員児童委員、主任児童委員は、法律により厚生労働大臣から職務を委嘱された無報酬のボランティアのことです。新潟市では75地区で約1400名が一人暮らしの高齢者や子育て世帯などへの訪問等を行う「見守り」や、困り事を抱える人への助言等の支援活動を行っています。

昨年の12月1日に小針地区においても民生委員児童委員、主任児童委員が改選され新体制になりました。任期は平成31年11月30日までの3年間です。私たちは小針地区民生委員児童委員18名(内、主任児童委員2名)で構成され、身近な地域の相談相手として、専門機関(地域包括支援センター・西区役所各部門・社会福祉協議会など)への「つなぎ役」として地域に寄り添った活動を行います。また、民生委員は地域の身近な相談相手であり支援者です。相談・支援内容や個人情報などは固く守られていますので、お気軽にご相談ください。

「西区感謝状に個人と団体が表彰される」

平成28年11月19日黒崎市民会館において、平成28年西区感謝状贈呈式が開催され、小針コミ協推薦の個人と構成団体が表彰されました。

●個人表彰 小針コミ協事務局長 前田 昭弘 様

小針コミ協の事務局運営などに7年間尽力し、地域コミ協の発展に貢献されたことが認められ表彰されました。



●団体表彰 地域ふれあいサロン 代表 漆山 和子 様

地域住民の交流の場を小針青山公民館で開設し、住民誰もが気軽に参加できる、「地域ふれあいサロン」を開催し地域社会の支援と福祉の発展に尽くされたことにより表彰されました。



コミ協事務局だより(9月~12月)

<行事・会議等9月~12月>

- 9月 7日 ウォーキング講座1回目(福祉部会)
- 9月 14日 ウォーキング講座2回目(福祉部会)
- 9月 30日 理事会(事務局)
- 10月 5日 ウォーキング講座3回目(福祉部会)
- 10月 15日 第5回合同防災訓練(防災・防犯部会)
- 10月 19日 自ら続ける健康ナビガイド(福祉部会)
- 10月 22日 朝ごはん料理講習会(青少年健全育成部会)
- 11月 7日 子供体験型安全教室(防災・防犯部会)
- 11月 12日 朝ごはん料理講習会(青少年健全育成部会)

- 11月 19日 防災講演会(防災・防犯部会)
- 12月 3日 自治会長会・自治会長研修会(事務局)
- 12月 3日 第4回バトミントン教室(文化・体育部会)

<今後の主な行事1月~3月>

- 1月 21日 ごみ問題・地域美化研修会(環境部会)
- 1月 21日 避難所運営検討会(防災・防犯部会)
- 1月 28日 新春かくし芸大会(青少年健全育成部会)
- 2月 11日 認知症予防と包括ケア講座会(福祉部会)
- 2月 17日 理事会(事務局)
- 3月 18日 自治会長会(事務局)

編集後記

平成28年も終え新たな年を迎えようとしています。今年も地域を取り巻く環境も厳しく、少子高齢化や地域課題も数多くありました。地域の活性化と課題解決を図るため地域コミ協の役割も増えていますので、皆さま方のご意見や情報などを生かした紙面づくりにご協力お願いします。
(連絡先 前田事務局長 TEL・FAX 266-1851)